

令和4年度 基礎技術研修 工事工程プロセス 報告

■研修名：令和4年度 基礎技術研修（工事工程プロセス）

■実施日：令和4年 1月24日（火）13:00～17:00

■研修導入の背景

現場の状況に適応した官積算の重要性と共に、工事着手後の工事実施プロセスを発注者が十分理解できていないのではないか。

■目的：若手技術職員を対象に、業務遂行上必要な基礎技術を習得させ整備局の技術力向上を図る。受注者の施工実態の講義を理解することによって、積算実務で担当者が考慮すべき事案等を習得し、積算、工期、施工計画などの検討に活用し、適切な工事発注を図る。

■受講者等：事務所・出張所若手技術系職員16名（係長3名 係員13名）

■研修中の主な意見

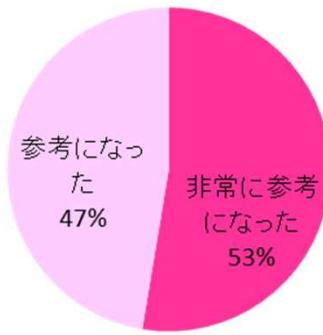
- ・河川や道路もあれば勉強になる、改良工事や舗装工事や維持修繕工事についても講義して欲しい。
- ・現場の意見をしれる、日々の業務を改善するにあたり良い機会。
- ・若手中心で適切、質問や意見が出しやすい。
- ・積極的に現場の状況を知ることにより、円滑な業務遂行につなげられる。
- ・工程について学ぶ機会が少なかった。

令和4年度 基礎技術研修 工事工程プロセス 報告

■アンケート結果：総数16名（係長3名

係員13名）

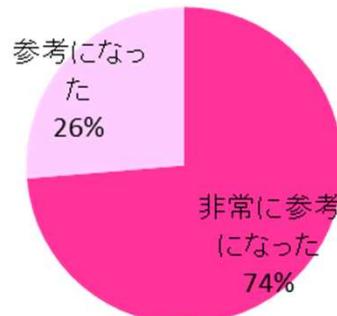
研修に参加して



■主な意見等

- ①企業の自社アピールが強かった印象。
- ②トンネル工事などのあまり担当する事の無い工事の問題点など知ることが出来た。
- ③トンネル工事や橋梁についての知識が理解・習得できた。
- ④発注者として発注時や設計時に何に留意するべきかを学ぶ事ができた。

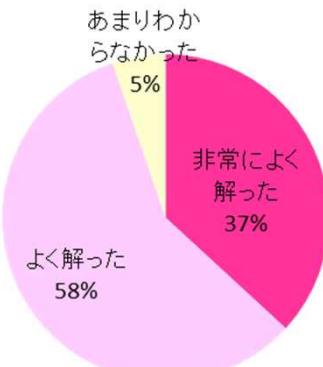
講師に実務経験者に来ていただきましたが、参考になりましたか。



■主な意見等

- ①現場の意見を知れる、日々の業務を改善するにあたり、良い機会だと感じた。
- ②発注者側としてのためになる話が多く有意義だった。

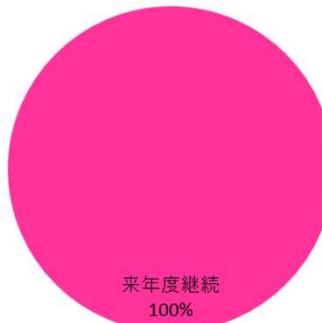
工事設定にあたり、注意する点がよく解りましたか。



■主な意見等

- ①当初契約時の積算の重要性を十分に理解した。
- ②発注前に現地の確認をし設計することでスムーズに工事を進めやすくなると知ることが出来た。

工種を替えて、来年度以降も研修を継続することについて如何ですか。



■主な意見等

- ①河川・道路（改良・舗装・維持修繕関係）もあれば勉強になる。
- ②業者の方が赤裸々に意見を言える場があることで円滑な意思疎通につながる。
- ③他の工種においても工程の考え方について受注者の意見を聞きたい。

令和4年度 基礎技術研修 工事工程プロセス 報告

研修状況



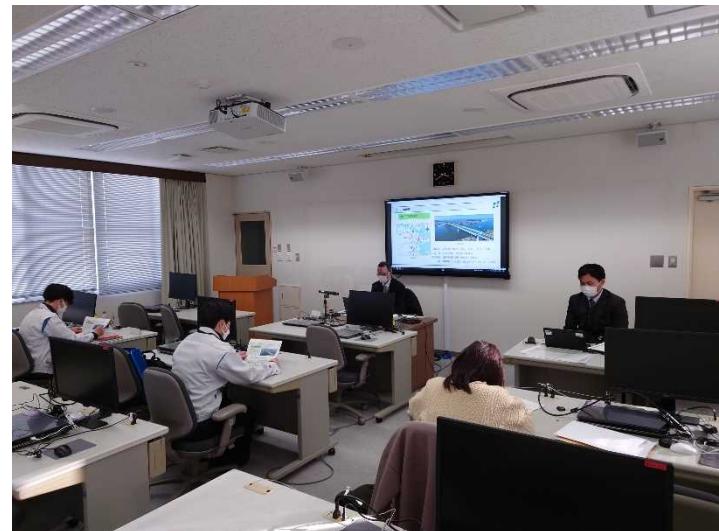
開会(四国技術事務所副所長)



講義1実施状況



講義2実施状況



講義3実施状況